



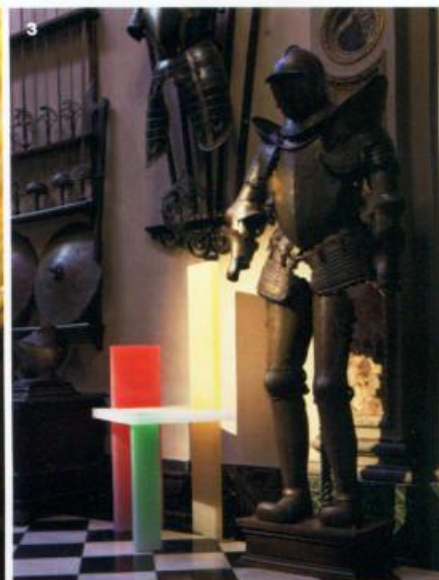
若手デザイナーを世に送る、ミラノサローネの母。

毎年、来場者であふれる人気会場となっているショップ「ロッセーナ・オルランディ」。今回はアートのコレクターでもあった19世紀の公爵の住居、元バガッティ・バルセッキ邸（現在は博物館）という歴史的建築物でのキュレーションでその才能を発揮したロッセーナ。「ミラノらしい典型的な邸宅の空間にモダンアートを融合させた」と言う。展示をキュレーションする立場の彼女にとって、若手のサポートにも力を入れている。「美術学校を卒業したての若手デザイナーを開拓するのが私の使命。常にデザイナーの成長過程に注目しているわ。展示する作品選びに必要なのは、継続して作品を見続けることよ」。特別な空間で、考え抜かれた展示を提案してくれる彼女は、現代におけるデザインの母かもしれない。

Rossana Orlandi

@ Museo Bagatti Valsecchi

ロッセーナ・オルランディ



1. 子ども部屋に合わせてロッキングトイを思わせるハイメ・アジジョンのウィットあふれる作品をディスプレイ。2. 19世紀の生活が思い起こされる寢室のベッドの横には、ガリニャニの世界観が特徴的なニカ・ズパンクの新作ベッドが並んで新旧のコラボが実現。3. 鎧が飾られたエントランスホールには、「素材感が繊細」と、ロッセーナが注目する若手韓国デザイナー、ウォンミン・パークの作品が、4. ライブラリースペースには、マルセル・ワンダースによる、タトゥーのように絵付けされた陶器の手が幻想的に並ぶ。5. 邸宅の客間にて、イタリア人デザイナー、ヤコポ・フォッジーニによるガラスのシャンデリアの下でロッセーナがお出迎え。